

# PC Server 325

## セットアップ・ガイド



IBM

**PC Server 325**

セットアップ・ガイド

**第 1 版 (1997年9月)**

|     |  |
|-----|--|
| 原 典 | 84H5945<br>PC Server 325<br>Setup and Installation |
| 発 行 | 日本アイ・ビー・エム株式会社                                     |
| 担 当 | ナショナル・ランゲージ・サポート                                   |

第 1 刷 1997.9

Copyright International Business Machines Corporation 1997. All rights reserved.

Translation: Copyright IBM Japan 1997

## 安全について

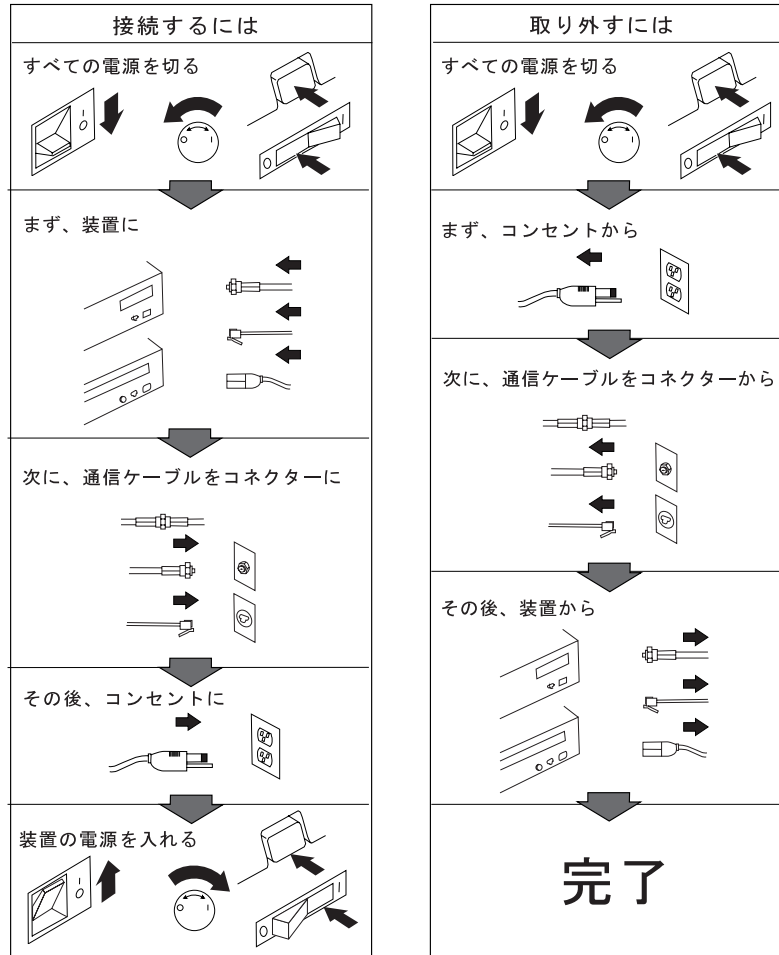
作業前に、*PC Server 325* ユーザーズ・ハンドブックの『安全に正しくお使いいただくために』を必ず読んでください。

## ⚠危険

電源コードは、正しく接地された電源コンセントに接続してください。

ケーブル類の取付け、取外し順序

電源コード、電話ケーブル、および通信ケーブルには危険な電流が流れています。感電を防止するために、コンピューターまたは接続装置を設置または移動するとき、またはカバーを開ける際には、下記の手順でケーブルの接続および取外しを行ってください。



電話ケーブル、通信ケーブルまたはテレビのアンテナ線を接続する製品は、雷の発生時にはケーブルの接続および取り外しをしないでください。

---

|                  |     |
|------------------|-----|
| 安全について           | iii |
| セットアップの概略        | 1   |
| ご質問あるいは障害について    | 1   |
| 制御とインディケーター      | 2   |
| 操作パネルの状況インディケーター | 3   |
| 梱包を解く            | 4   |
| チェック・リスト         | 4   |
| 電圧選択スイッチを設定する    | 5   |
| オプションを取り付ける      | 6   |
| 内蔵ドライブを取り付ける     | 7   |
| メモリーを取り付ける       | 12  |
| アダプターを取り付ける      | 13  |
| カバーを再び取り付ける      | 14  |
| ケーブルを接続する        | 15  |
| サーバーを始動する        | 16  |
| ソフトウェアを導入する前に    | 17  |
| イーサネットの導入情報      | 18  |
| イーサネット・ケーブルの仕様   | 18  |





## セットアップの概略

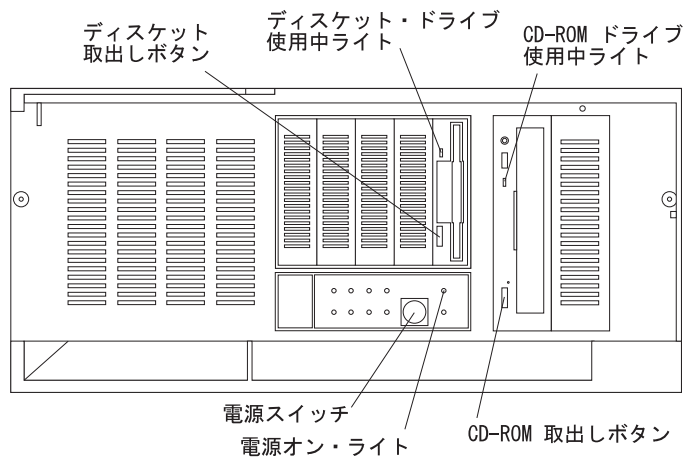
このセットアップ・ガイドは、お求めになった製品の設置方法を説明しています。

## ご質問あるいは障害について

セットアップに関するご質問あるいは障害等については、お買求めの販売店または IBM 営業担当員にご連絡ください。

## 制御とインディケータ

よく使用されるスイッチや状況インディケータのほとんどは、サーバーの前面に配置されています。

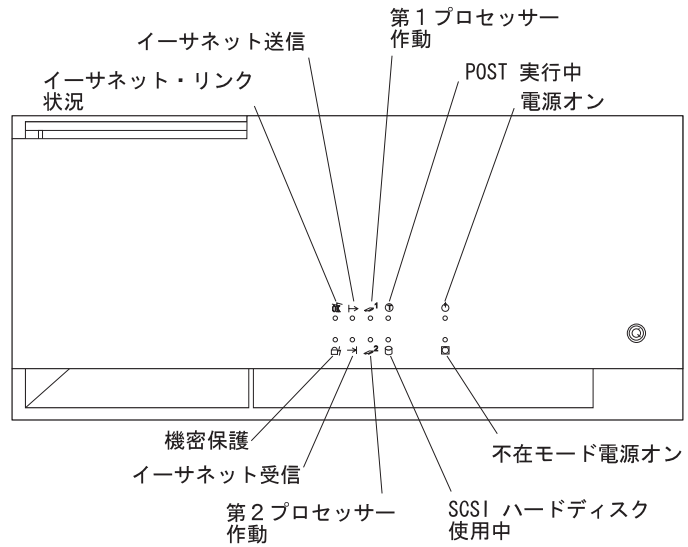


### ⚠注意

サーバーを移動したり持ち上げたりするときは、けがをしないように、どなたかに手伝ってもらってください。

## 操作パネルの状況インディケータ

サーバーの前面パネルには、次の状況インディケータがあります。



## 梱包を解く

製品には、セットアップに必要なものが、すべて付属しています。

### チェック・リスト

梱包を解いたら、以下のものが揃っているか確認してください。

#### ハードウェア

- IBM<sup>\*</sup> PC Server 325
- サーバーのドア・キー
- 電源コード
- ベゼル2個、 EMCシールド2個（取付けドライブ用）

#### ソフトウェア

- IBM ServerGuide<sup>\*</sup> パッケージ
- IBM Video Support ディスケット・パッケージ
- IBM Ethernet Support ディスケット・パッケージ
- IBM UltraSCSI マニュアルとディスク・パッケージ
- Lotus ノーツなどの、他のソフトウェア・パッケージ（モデルにより異なる）

#### マニュアル

- IBM PC Server 325 セットアップ・ガイド（本書）
- IBM PC Server 325 ユーザーズ・ハンドブック
- IBM PC Server 取付け用テンプレート

不良品あるいは破損品があったときは、特約店または IBM 営業担当員までご連絡ください。

---

\* 米国およびその他の国における IBM Corporation の商標です。

# 電圧選択スイッチを設定する

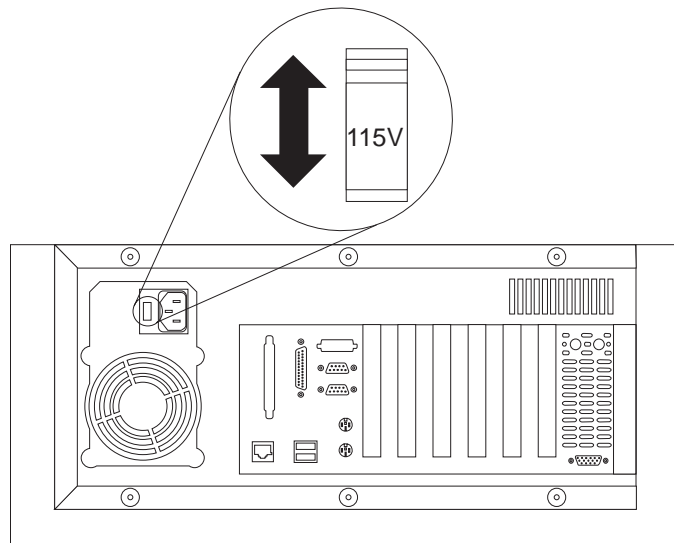
- 1 電圧選択スイッチの位置が正しいことを確認してください。

90V から 137V までの電圧を使用する場合は、115 が見える位置にセットしてください。

180V から 265V までの電圧を使用する場合は、230 が見える位置にセットしてください。

**重要:** スイッチの位置を間違えたまま電源を入れると、PC Server を壊してしまいます。ご注意ください。

- 2 電圧の設定を調整する必要がある場合は、スイッチを正しい位置までスライドさせます。



次に何をしますか

内蔵ドライブ、メモリー、またはアダプターを取り付ける場合は、6ページの『オプションを取り付ける』へ進んでください。

取り付けるオプションがない場合は、15ページの『ケーブルを接続する』へ進んでください。

## オプションを取り付ける

ここでは、内蔵ドライブ、メモリー、およびアダプターを取り付ける手順について述べています。小型のマイナス・ドライバーを用意してください。

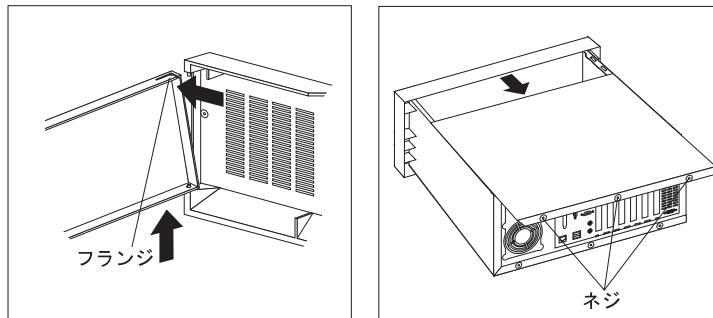
他のオプションを取り付ける場合、あるいはもっと詳しい情報が必要な場合は、各オプションの説明書または *PC Server 325 ユーザーズ・ハンドブック* を参照してください。

- 1 ロックを解除して、前面ドアを開きます。次に、フランジに押し下げて、ドアを取り外します。

### ⚠注意

開いたドアをつかんで、サーバーを移動したり持ち上げたりしないでください。

- 2 トップ・カバーを固定している3本のネジを緩めて、サーバーからカバーを取り外してください。



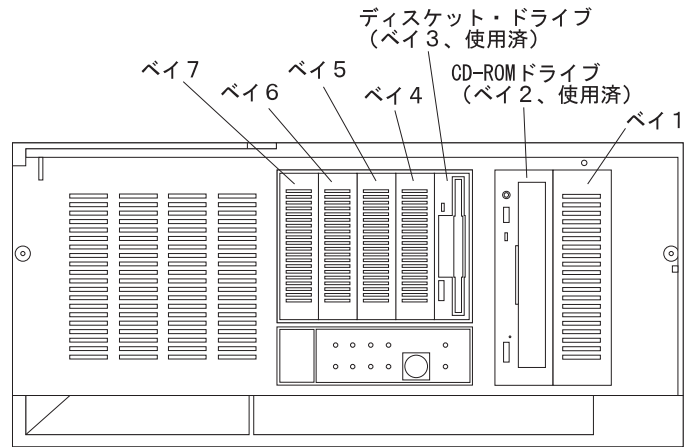
次に何をしますか

内蔵ドライブを取り付ける場合は、7ページの『内蔵ドライブを取り付ける』へ進んでください。

メモリーを取り付ける場合は、12ページの『メモリーを取り付ける』へ進んでください。

アダプターを取り付ける場合は、13ページの『アダプターを取り付ける』へ進んでください。

## 内蔵ドライブを取り付ける



PC Server 325 では、CD-ROM ドライブ (ベイ 2) の SCSI ID は 6 に、ハードディスク・ドライブ (モデルにより異なる) の SCSI ID は 3 に設定されています。

SCSI 装置を追加して取り付ける場合は、各装置に特有の ID を設定してください。詳しい情報については、SCSI 装置に付属の説明書を参照してください。

### SCSI ターミネーターの要件

PC Server 325 システム・ボード上の UltraSCSI コントローラーは、SCSI バス (ケーブル) の一方の端のターミネーターになりますが、SCSI バスの両端に、ターミネーターが必要になります。SCSI バスに合ったターミネーターを、確実に設定するには次の説明を参照してください。

ベイ 7 にハードディスク・ドライブが標準装備されている PC Server 325 モデルでは、ハードディスク・ドライブのターミネーターは使用可能に設定されています。

ベイ 1、4、5、および 6 に SCSI 装置を追加する場合は、装置のターミネーターを使用不可に設定してから、取り付ける必要があります。

ハードディスク・ドライブが標準装備されていない PC Server 325 モデルでは、最初に取り付けるハードディスク・ドライブ用のターミネーターを、使用可能に設定してください。そのあと、ベイ 7 にドライブを取り付けます。ドライ

ブを取り付けたら、内蔵 SCSI ケーブルの最後のコネクタを装置に取り付けます。

ベイ 1、4、5、および 6 に SCSI 装置を追加する場合は、これらの装置のターミネーターを使用不可に設定してから、取り付ける必要があります。

注: ベイ 2 の CD-ROM 用のターミネーターは、使用可能に設定できません。

外付け SCSI 装置をもつ PC Server 325 モデルでは、外付け SCSI ケーブルはサーバーの中に、巻かれた状態で入っており、タイ・ラップで固定されています。ケーブルからタイ・ラップを取り外し、システム・ボード上の SCSI コネクタに接続します。コネクタの位置については、サーバーのカバーの内側に貼ってあるラベルを参照してください。

外付けケーブル上にある最後の装置のターミネーターを、使用可能に設定します。詳しくは、装置に付属の説明書を参照してください。

注: PC Server 325 に内蔵ハードディスク・ドライブが取り付けられていない場合は、ターミネーターを入手し、内蔵 SCSI ケーブルの最後のコネクタに、取り付ける必要があります。

ターミネーターの入手方法については、特約店または IBM 営業担当までご連絡ください。

ドライブを取り付けるには、次の手順に従ってください。

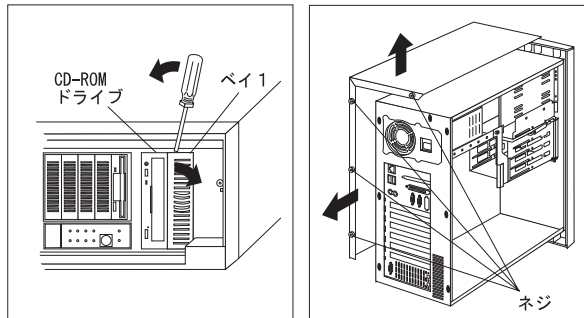
- 1** 取り付けるドライブすべての SCSI ID とターミネーターを設定します。ドライブに付属の説明書および 7 の“SCSI ターミネーターの要件”を参照してください。

ベイ 1 にドライブを取り付ける場合は、2 (9ページ) へ進んでください。

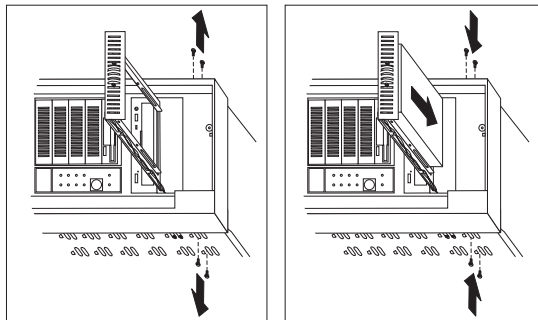
ベイ 4、5、6、または 7 に取り付ける場合は、9 (10ページ) へ進んでください。



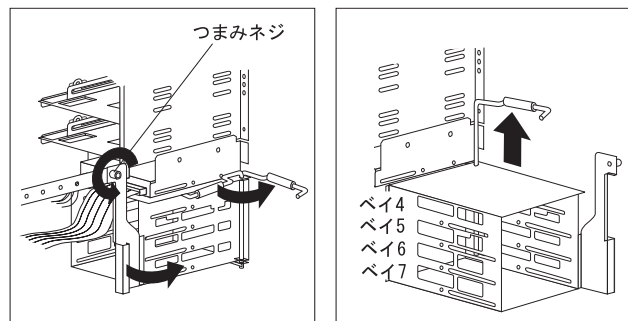
- 2** ベイ 1 (CD-ROM ドライブの右側のベイ) にドライブを取り付けるには、ベイからカバー・プレートを取り外します。



- 3** 底面のカバーを固定している 4 本のネジを緩めて、サーバーからカバーを取り外してください。
- 4** ベイ 1 にあるドライブ・トレイ上のファン用電源コネクタを抜きます。
- 5** ドライブ・トレイをサーバーに固定しているネジを取り外し、トレイをスライドさせてベイから取り外します。

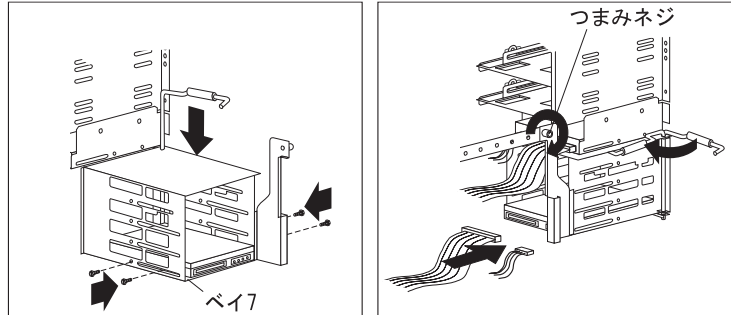


- 6 3.5 インチのドライブを取り付ける場合は、ドライブのコネクター側をトレイの後部に向けて入れ、ドライブに付属のネジで固定します。
- 7 3.5 インチのドライブとトレイまたは 5.25 インチのドライブをスライドさせてベイに差し込みます。5 (9ページ) で取り外したネジを再度取り付けて、締めます。
- 8 ドライブ・トレイ・ファンの電源コネクターを再接続します。  
取り付けるドライブがない場合は、14 (11ページ) へ進んでください。
- 9 ベイ 4、5、6、または 7 にドライブを取り付けるには、CD-ROM ドライブが上側にくるように置きます。
- 10 取外し可能メディア (CD-ROM など) 用ドライブをベイ 1 に取り付ける場合は、カバー・プレートを取り外してください。
- 11 クロスバー上のつまみネジを緩め、ハウジングの端の下から、蝶つがいをスライドさせ、サーバーからドライブ・ハウジングを開きます。



- 12** ベイ 7 (一番下側のベイ) に一台目のドライブを取り付けます。ドライブをハウジングにスライドして差し込み、ドライブ・キットに付属のネジで固定します。

**重要:** ネジを締め過ぎないでください。ドライブが正しく動作しなくなることがあります。



- 13** ハウジングを閉じます。蝶つがいピンを一番下まで押し下げて、クロスバー上のつまみネジを締めます。

- 14** SCSI および電源ケーブルをドライブに接続します。ベイ 7 のドライブについては、SCSI ケーブル上の最後のコネクタを使用してください。

**重要:** 誤動作を防ぐために、SCSI ケーブルを折りたたまないでください。

次に何をしますか

メモリーを取り付ける場合は、12ページの『メモリーを取り付ける』へ進んでください。

アダプターを取り付ける場合は、13ページの『アダプターを取り付ける』へ進んでください。

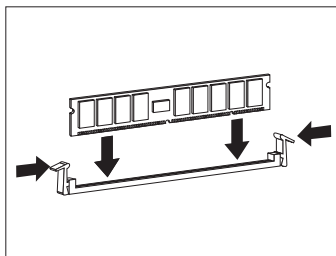
オプションの取付けが完了した場合は、14ページの『カバーを再び取り付ける』へ進んでください。

## メモリーを取り付ける

このサーバーでは、60ns、EDO(Extended Data Output)、ECC(Error Correcting Code)仕様の DIMM が使用されていますが、残りのコネクタに DIMM を増設することができます。

- 1 DIMM の入っている静電気防止パッケージをサーバーの塗装処理されていない金属面に接触させてから、DIMM をパッケージから取り出します。
- 2 DIMM の下端にある2つのキーの位置が、コネクタの対応するキーの位置と合うように、DIMM の位置を決めます。そのあと、DIMM をコネクタにラッチの両端がはまるまで、しっかり押し込みます。

DIMM は隣接するコネクタに取り付け、間に空のコネクタがないようにします。メモリー容量の異なる複数の DIMM を取り付ける場合は、メモリー容量の大きい順に、プロセッサ・ボードの端に最も近いコネクタ (J2) から取り付けていきます。



- 3 取り付けたメモリー・モジュールのサイズおよび位置を *PC Server 325 ユーザーズ・ハンドブック*の付録にある装置の記録の欄に記録してください

次に何をしますか

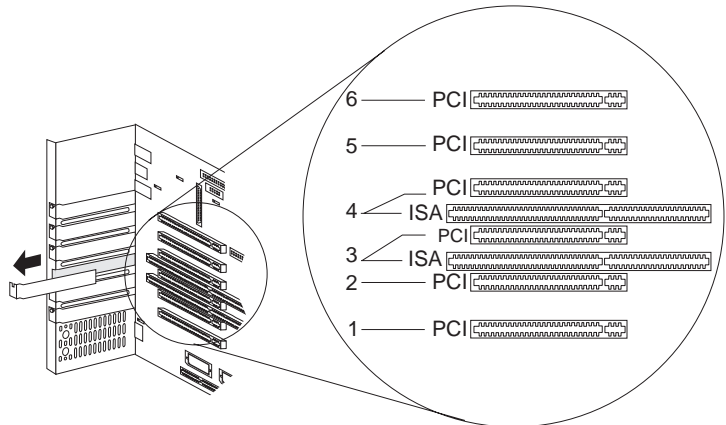
アダプターを取り付ける場合は、13へ進んでください。

オプションの取付けが完了した場合は、14ページの『カバーを再び取り付ける』へ進んでください。

# アダプターを取り付ける

最高 6 個のアダプターを、システム・ボードの拡張スロットに取り付けることができます。ここでは、PCI スロットが 4 個と PCI/ISA 共有スロットが 2 個付いています。

- 1 PCI と ISA 拡張スロットの位置を確認してください。
- 2 拡張スロットのカバーを取り外し、固定用ネジを保管してください。



- 3 アダプターをガイドに沿わせて、システム・ボード上のコネクターにしっかり差し込み、取り付けて固定用ネジを締めます。
- 4 アダプターにケーブル接続が必要な場合は、アダプターに付属の説明書を参照してください。

次に何をしますか

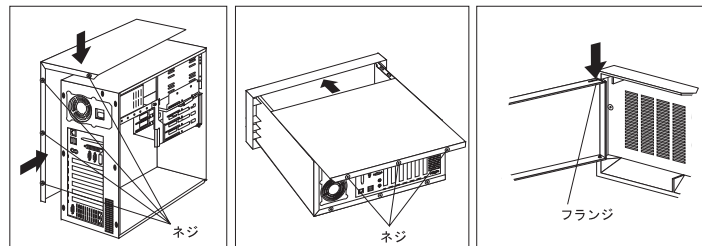
他のオプションを取り付ける場合は、各オプションの説明書または *PC Server 325 ユーザーズ・ハンドブック* を参照してください。

オプションの取付けが完了した場合は、14ページの『カバーを再び取り付ける』へ進んでください。

## カバーを再び取り付ける

カバーを再び取り付けるには、次の手順に従ってください。

- 1 メモリー・モジュール、内蔵アダプター、およびその他の部品（ケーブル類）が確実に接続されていることを確認してください。
- 2 カバーを取り付け、ネジを締めてください。
- 3 前面ドアを取り付け、閉めてください。



次に何をしますか

ケーブルの接続、テスト、およびソフトウェアの導入をする前に、サーバーをラックに取り付ける場合は、*PC Server 325 ユーザーズ・ハンドブック*を参照してください。次に、本書の 15 ページの『ケーブルを接続する』に戻り、取付けを完了してください。

ケーブルの接続、テスト、およびソフトウェアの導入をしてから、サーバーをラックに取り付ける場合は、15 ページの『ケーブルを接続する』へ進んでください。

# ケーブルを接続する

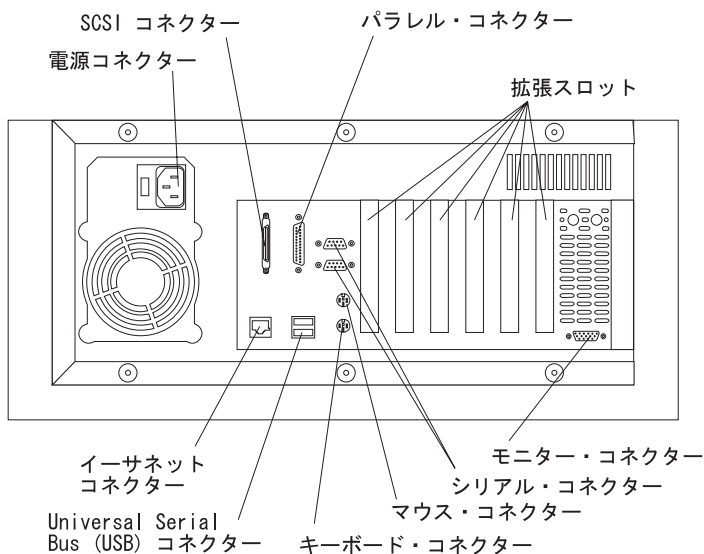
設置するサーバー、ディスプレイ、およびその他のオプションに必要な数の、正しく接地された電源コンセントがあることを確認してください。

サーバーの前後には 76 mm 以上のすきまを取って、サーバーの冷却システムが正しく動作するようにしてください。

ケーブルを接続するには、次の手順に従ってください。

## 1 図を参照して、ケーブルを接続してください。

イーサネットのケーブルの情報については、18ページの『イーサネット・ケーブルの仕様』を参照してください。



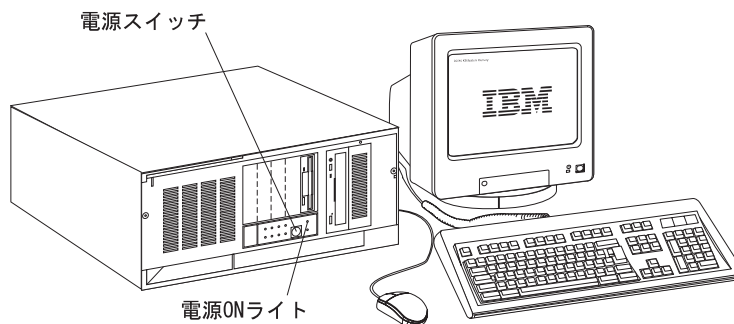
## 2 すべての電源コードを、コンセントに接続してください。

## 3 16ページの『サーバーを始動する』へ進んでください。

## サーバーを始動する

サーバーを始動するには、次の手順に従ってください。

- 1 初めて始動する場合は、サーバーのドア・キーを使用して、ロックを解除し、ドアを開けてください。
- 2 モニター、プリンター、およびモデムなどの装置の電源をすべて入れてから、サーバー本体の電源を入れてください。



- 3 POST(始動テスト)の結果をモニターで確認してください。テストが終了すると次のようになります。

利用可能なメモリーを表す数値が表示されます。

正常に動作している場合は、1回ピーブ音がなります。

オペレーティング・システムが未導入の場合は、始動可能なディスクレットを挿入することをうながすメッセージがでます。

**重要:** エラー・メッセージが表示されたら、*PC Server 325 ユーザーズ・ハンドブック*の“問題判別”の章を参照してください。次に、17ページの『ソフトウェアを導入する前に』へ進んでください。

- 4 17ページの『ソフトウェアを導入する前に』へ進んでください。



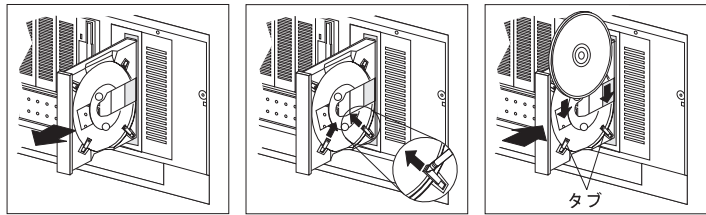
## ソフトウェアを導入する前に

ServerGuide を使用して、導入するオペレーティング・システムに適した動作環境が整っているかを確認してください。

- 1 ServerGuide パッケージの指示に従って、オペレーティング・システムを導入してください。

ServerGuide の CD にも、オペレーティング・システムの導入を簡単に行うためのメニュー形式のプログラムが入っています。多数のアプリケーション・プログラムと、その他多くの機能も入っています。これらのアプリケーションと機能を使用するための追加料金は不要です。

CD をセットする場合は、必ず CD がトレイの底の 2 つのタブの下にくるようにしてください。次に、トレイを軽く押し込みます。



- 2 PC Server 325 ユーザーズ・ハンドブックの表を利用して、PC Server の製造番号とキーの製造番号を記録してください。オプションを取り付けた場合は、「装置の記録」を更新してください。

次に何をしますか

ラックにサーバーを取り付ける場合は、*PC Server 325 ユーザーズ・ハンドブック* の説明を参照してください。

アプリケーション・プログラムを導入する場合は、アプリケーション・プログラムの説明書を参照してください。

PC Server についてもっと知りたい場合は、*PC Server 325 ユーザーズ・ハンドブック*を参照してください。

## イーサネットの導入情報

システム・ボード上のイーサネット・コントローラーは、サーバーの背面にある RJ-45 コネクターを通して 10BASE-T および 100BASE-TX をサポートします。サーバーをネットワークに接続すると、イーサネット・コントローラーは自動的にネットワーク上のデータ転送速度 (10 Mbps または 100 Mbps) を検出して、適切な速度に設定して動作します。

イーサネット・コントローラーは、自動検出モードのみをサポートします。デバイス・ドライバを導入して、現在のオペレーティング・システムの下でイーサネット・コントローラーを使用するように構成するときは、10BASE-T モードを選択しないでください。コントローラーの適切な動作を確保するには、提供されたデフォルトのパラメーターを常に選択してください。

## イーサネット・ケーブルの仕様

ここでは、サーバーを IEEE 標準 802.3 ネットワークに接続するのに使用できる、シールドなし対より線 (UTP) の仕様について説明します。

サーバーの 10BASE-T (または 100BASE-TX) ポートとリピーターの 10BASE-T (または 100BASE-TX) ポートの接続には、両端に RJ-45 コネクターのある UTP ケーブルを使用してください。EIA/TIA-568 カテゴリー 5 ケーブルには、100BASE-TX を使用してください。

10BASE-T または 100BASE-TX リンク・セグメントで使用されるケーブルは、接地する必要はありません。ただし、ケーブルに接続する装置はすべて接地する必要があります。

適切なタイプの UTP ケーブルをリピーターに接続してください。

リピーターのポートがクロスオーバー・ポート (MDI ポートとも言う) の場合は、ストレート・ケーブル (straight-through) として配線された UTP ケーブルを使用してください。

リピーターのポートがクロスオーバー・ポート (MDI ポートとも言う) でない場合は、クロスオーバー・ケーブルとして配線された UTP ケーブルを使用してください。

サーバーとリピーターの接続には、電話の延長ケーブルを使用しないでください。電話の延長ケーブルの対線はより線ではなく、このケーブルは 10BASE-T (または 100BASE-TX) ネットワークで使用できるその他の要件を満たしていません。電話の延長ケーブルは平らで薄いので、見分けることができます。UTP ケーブルは、電話の延長ケーブルよりも丸く、太いケーブルです。

表1 は、10BASE-T リンク・セグメントで使用される UTP ケーブルの仕様を示しています。100BASE-TX リンク・セグメントの要件を満たすケーブルは、EIA/TIA-568 カテゴリー 5 になります。

| 表 1. 10BASE-T リンク・セグメント用のケーブル接続仕様 |   |
|-----------------------------------|---|
| 特性                                | 仕様  |
| ケーブルのタイプ                          | 22、24、または 26AWG の 2 つの対より線がある UTP ケーブル ワイヤー |
| 公称インピーダンス                         | 100 オーム                                     |
| 伝播速度                              | 0.585 c                                     |
| 最大減衰                              | 10 MHz で 100 m あたり 8 ~ 10 dB                |

EIA/TIA-568 カテゴリー 3、4、および 5 と認定されたケーブル類は、10BASE-T すべての仕様に適合するケーブル・タイプです。EIA/TIA-568 カテゴリー 5 ケーブルには、100BASE-TX を使用してください。

ケーブルには、2 対から 4 対の対より線が含まれていてもかまいませんが、10BASE-T ネットワークで使用されるのは 2 対だけです。

c は、真空中で光が進む速さ、すなわち 300 000 km/秒 (186 400 mi/秒) を表します。

# IBM

部品番号: 84H5945

Printed in U.S.A.

1997 年 9 月



84H5945